

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月23日(2020.4.23)

【公開番号】特開2019-147068(P2019-147068A)

【公開日】令和1年9月5日(2019.9.5)

【年通号数】公開・登録公報2019-036

【出願番号】特願2019-113271(P2019-113271)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月13日(2020.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域が形成された遊技盤と、

前記遊技領域に設けられた第1始動入賞口と、

前記遊技領域に設けられ、遊技球の入球が相対的に困難な状態から容易な状態へ変化するよう開放可能な拡開機構を有する第2始動入賞口と、

前記第1始動入賞口への入球を契機として、通常遊技より遊技者に有利な状態である特別遊技へ移行するか否かを判定するための抽選値に基づいて第1の当否判定を実行する第1当否判定手段と、

前記第2始動入賞口への入球を契機として、前記特別遊技へ移行するか否かを判定するための抽選値に基づいて第2の当否判定を実行する第2当否判定手段と、

前記第1の当否判定の結果を示す第1の図柄を変動表示させる第1表示制御手段と、

前記第2の当否判定の結果を示す第2の図柄を変動表示させる第2表示制御手段と、

所定個数を上限に、前記第1始動入賞口への入球に応じた抽選値を、その抽選値に基づく第1の当否判定に対応する第1の図柄の変動表示開始まで保留し、所定個数を上限に、前記第2始動入賞口への入球に応じた抽選値を、その抽選値に基づく第2の当否判定に対応する第2の図柄の変動表示開始まで保留する保留制御手段と、

前記第1の当否判定の結果が当りとなった場合、および、前記第2の当否判定の結果が当りとなった場合に前記特別遊技を実行する特別遊技制御手段と、

前記特別遊技の終了後に前記第2始動入賞口への入球容易性が通常状態より高くなるよう前記拡開機構が開放される入球容易状態へ移行させる特定遊技制御手段と、

演出的な内容が表示される演出表示装置と、

前記演出表示装置に表示させる演出的な内容を決定する演出決定手段と、

前記演出決定手段により決定された前記演出的な内容を前記演出表示装置に表示させる演出表示制御手段と、

を備え、

前記第1始動入賞口への入球に応じた抽選値に関する情報、および、前記第2始動入賞口への入球に応じた抽選値に関する情報は、その入球に対応する図柄変動表示が直ちに開始されるか否かにかかわらず事前判定結果として前記演出決定手段へ通知され得るよう構成され、

前記演出決定手段は、前記事前判定結果に応じて前記第1の当否判定の結果を示唆する特殊演出の態様または前記第2の当否判定の結果を示唆する特殊演出の態様を前記演出的な内容として決定し、

前記第1表示制御手段は、前記第2始動入賞口への入球に応じた抽選値が保留されている場合、前記第1の図柄の変動表示の開始を留保し、前記第2表示制御手段は、前記第1始動入賞口への入球に応じた抽選値が保留されているか否かに関わらず前記第2の図柄の変動表示を開始し、

前記入球容易状態における前記特殊演出は、前記第2始動入賞口への入球に応じた抽選値の保留を対象とするものであり、かつ、前記第2始動入賞口への入球に応じた抽選値の保留の個数が所定値以上である場合に前記演出表示装置に表示され、

前記特別遊技終了後、前記入球容易状態に移行されてから所定回数の図柄変動が終了するまでの期間においては、前記特殊演出とは異なる演出のための短い変動時間を定めた変動パターンである特殊変動パターンを用いて図柄変動が行われるとともに、前記期間中に前記第2始動入賞口への入球により生起した保留に基づく前記特殊演出が実行されず、

前記入球容易状態が終了する直前の前記所定個数の保留に係る図柄変動が終了するまでの期間においては、前記第2始動入賞口への入球により生起した保留に基づく前記特殊演出が実行されない弾球遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明のある態様の弾球遊技機は、遊技領域が形成された遊技盤と、前記遊技領域に設けられた第1始動入賞口と、前記遊技領域に設けられ、遊技球の入球が相対的に困難な状態から容易な状態へ変化するよう開放可能な拡開機構を有する第2始動入賞口と、前記第1始動入賞口への入球を契機として、通常遊技より遊技者に有利な状態である特別遊技へ移行するか否かを判定するための抽選値に基づいて第1の当否判定を実行する第1当否判定手段と、前記第2始動入賞口への入球を契機として、前記特別遊技へ移行するか否かを判定するための抽選値に基づいて第2の当否判定を実行する第2当否判定手段と、前記第1の当否判定の結果を示す第1の図柄を変動表示させる第1表示制御手段と、前記第2の当否判定の結果を示す第2の図柄を変動表示させる第2表示制御手段と、所定個数を上限に、前記第1始動入賞口への入球に応じた抽選値を、その抽選値に基づく第1の当否判定に対応する第1の図柄の変動表示開始まで保留し、所定個数を上限に、前記第2始動入賞口への入球に応じた抽選値を、その抽選値に基づく第2の当否判定に対応する第2の図柄の変動表示開始まで保留する保留制御手段と、前記第1の当否判定の結果が当りとなった場合、および、前記第2の当否判定の結果が当りとなった場合に前記特別遊技を実行する特別遊技制御手段と、前記特別遊技の終了後に前記第2始動入賞口への入球容易性が通常状態より高くなるよう前記拡開機構が開放される入球容易状態へ移行させる特定遊技制御手段と、演出的な内容が表示される演出表示装置と、前記演出表示装置に表示させる演出的な内容を決定する演出決定手段と、前記演出決定手段により決定された前記演出的な内容を前記演出表示装置に表示させる演出表示制御手段と、を備え、前記第1始動入賞口への入球に応じた抽選値に関する情報、および、前記第2始動入賞口への入球に応じた抽選値に関する情報は、その入球に対応する図柄変動表示が直ちに開始されるか否かにかかわらず事前判定結果として前記演出決定手段へ通知され得るよう構成され、前記演出決定手段は、前記事前判定結果に応じて前記第1の当否判定の結果を示唆する特殊演出の態様または前記第2の当否判定の結果を示唆する特殊演出の態様を前記演出的な内容として決定し、前記第1表示制御手段は、前記第2始動入賞口への入球に応じた抽選値が保留されている場合、前記第1の図柄の変動表示の開始を留保し、前記第2表示制御手段は、前記第1始動入賞口への入球に応じた抽選値が保留されているか否

かに関わらず前記第2の図柄の変動表示を開始し、前記入球容易状態における前記特殊演出は、前記第2始動入賞口への入球に応じた抽選値の保留を対象とするものであり、かつ、前記第2始動入賞口への入球に応じた抽選値の保留の個数が所定値以上である場合に前記演出表示装置に表示され、前記特別遊技終了後、前記入球容易状態に移行されてから所定回数の図柄変動が終了するまでの期間においては、前記特殊演出とは異なる演出のための短い変動時間を定めた変動パターンである特殊変動パターンを用いて図柄変動が行われるとともに、前記期間中に前記第2始動入賞口への入球により生起した保留に基づく前記特殊演出が実行されず、前記入球容易状態が終了する直前の前記所定個数の保留に係る図柄変動が終了するまでの期間においては、前記第2始動入賞口への入球により生起した保留に基づく前記特殊演出が実行されない。